

おやま 市議会だより



第303号

●主な内容

正副議長、常任委員などを改選

議会役職改選……………	②・③	市政一般質問……………	⑧～⑬
議案とその内容……………	④	議会日誌……………	⑬
人事案件……………	④	新議場特集……………	⑭
陳情……………	⑤	次回定例会の予定……………	⑮
審議結果……………	⑤	表彰……………	⑯
委員会報告……………	⑤～⑧		

令和3年8月1日号



新議場に一堂に会した議員

議会の新体制スタート

議長に福田洋一議員、副議長に橋本守行議員を選出

令和3年第2回（6月）定例会最終日の28日に正副議長の改選があり、議長選挙が行われ、第38代議長に福田洋一議員を指名推選により選出しました。続いて第37代副議長に橋本守行議員を指名推選により選出しました。その後、常任委員・議会運営委員・議会広報委員の改選を行うとともに、小山広域保健衛生組合議会議員を選出しました。また、決算審査特別委員会を設置し、委員を選出しました。



議長
福田 洋一
議員



副議長
橋本 守行
議員

予算審査常任委員会

- 委員長 苅部 勉
- 副委員長 岡田 裕
- 委員

- ・細野 大樹
- ・平野 正敏
- ・嶋田 積男
- ・佐藤 忠博
- ・植村 一
- ・福田 幸平
- ・山野井 孝
- ・塚原 俊夫
- ・大平 拓史
- ・渡邊 一郎
- ・土方 美代
- ・小林 英恵
- ・大木 英憲
- ・篠崎 佳之
- ・関 良平
- ・石島 政己

決算審査特別委員会

- 委員長 高橋 栄
- 副委員長 植村 一
- 委員

- ・片山 照美
- ・渡辺 一男
- ・橋本 守行
- ・苅部 勉
- ・荒井 覚
- ・荒川美代子
- ・大出 ハマ
- ・青木美智子
- ・渡邊 一郎
- ・嶋田 積男
- ・森田 晃吉
- ・福田 幸平
- ・篠崎 佳之
- ・山野井 孝
- ・小川 亘
- ・石島 政己

議会広報委員会

- 委員長 土方 美代
- 副委員長 大平 拓史
- 委員

- ・細野 大樹
- ・橋本 守行
- ・高橋 栄
- ・福田 洋一

小山広域保健衛生組合 議会議員

- ・岡田 裕
- ・大木 英憲
- ・荒川美代子
- ・関 良平
- ・小林 英恵
- ・荒井 覚
- ・大出 ハマ

議会運営委員会

- 委員長 篠崎 佳之
- 副委員長 小林 英恵
- 委員

- ・苅部 勉
- ・福田 幸平
- ・荒川美代子
- ・植村 一
- ・荒井 覚
- ・山野井 孝

新しい議場での定例会の様子



新庁舎に移転後、最初の定例会が開催されました。

総務常任委員会

◎は委員長
○は副委員長



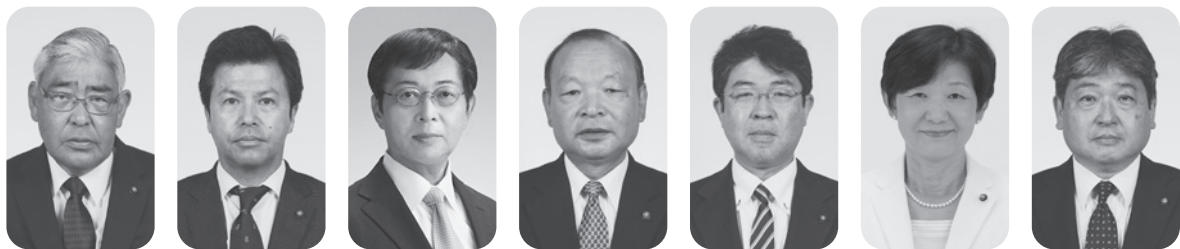
◎嶋田 積男 ○福田 幸平 大平 拓史 土方 美代 小林 英恵 大木 英憲 福田 洋一 塚原 俊夫

民生常任委員会



◎佐藤 忠博 ○細野 大樹 平野 正敏 篠崎 佳之 安藤 良子 小川 亘 青木 美智子

教育経済常任委員会



◎渡辺 一男 ○荒井 寛 高橋 栄 橋本 守行 苅部 勉 荒川 美代子 山野井 孝

建設水道常任委員会



◎渡邊 一郎 ○森田 晃吉 片山 照美 岡田 裕 植村 一 大出 ハマ 関 良平 石島 政己

6月

定例会のあらまし

令和3年6月3日～6月28日

令和3年第2回(6月)定例会は、6月3日から28日まで26日間の会期で開かれました。本定例会では、令和3年度一般会計補正予算案をはじめ、条例の一部改正案および人事案などについて審議しました。

6月3日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案14件、報告8件が上程され、提案理由の説明を受けた後、議案4件を即決しました。

6月7日から10日は、4会派および11人の議員が市政に対して一般質問を行いました。10日は、上程議案に対する質疑の後、議案お

よび陳情の各委員会への付託を行いました。これを受けて、6月14日から18日に各委員会が開かれ、審査を行いました。

6月28日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案10件を可決、陳情については1件を不採択としました。さらに補正予算案1件が追加上程され、提案理由の説明を受けた後、これを可決しました。その後、議会の役職改選を行い、それに伴う監査委員選任の議案1件が上程され、これを可決し定例会を閉会しました(役職改選の結果については2から3ページをご覧ください)。

主な議案

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第2号)―歳入歳出それぞれ14億8857万8千円の増額補正。低所得子育て世帯特別給付金給付事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、農地耕作条件改善事業費、大谷地区道路整備事業費、3・4・101城東線道路改良事業費、間々田八幡公園改修事業費、城山(祇園城)公園再整備事業費など、補正後の予算総額は65億5920万5千円。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第3号)―歳入歳出それぞれ9156万7千円の増額補正。生活困窮者自立支援金支給事業費など、補正後の予算総額は659億5077万2千円。

◆小山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

―人事院規則が改正され、新型コロナウイルス感染症から国民の生命および健康を保護するため緊急に行われる措置に係る作業に従事した場合に、特例による防疫作業手当を支給することになったことから、本市においても同規則に準拠し、新型コロナウイルス感染症に係る危険な作業に従事した場合に特殊勤務手当の特例として支給できるように、所要の改正をするもの。

◆財産の取得について―大谷地区中心施設整備事業および市道7215号線整備事業に係る用地取得について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するもの。

取得財産…土地(大字横倉)地積…2万5922・04㎡
購入金額…3億7955万295円

◆小山市立体育館整備及び運営事業の事業契約の一部変更について―平成31年3月に締結した小山市立体育館整備及び運営事業の事業契約を一部変更することについて、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第12条の規定により提案するもの。

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について

小山市大字下石塚
野澤 容子(新任)
昭和29年1月12日生

契約の相手方…思川PFIパートナーズ株式会社
原契約代金額…59億3447万6884円
変更後契約代金額…58億4644万2737円
変更による減額分…8803万4147円

監査委員に 安藤 良子議員

議会最終日、議会選出の監査委員に安藤良子議員を選任することについて議案が提出され、議会はこれに同意しました。



令和3年第2回定例会（6月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第54号	令和3年度小山市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議案第68号	令和3年度小山市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
条 例			
議案第55号	小山市介護保険条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第56号	小山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第57号	小山市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第58号	小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第59号	小山市立学校設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第60号	小山市立教育研究所設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第61号	小山市立体育館整備及び運営事業の事業契約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第62号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第63号	建設工事請負契約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第64号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第67号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第69号	監査委員の選任について	原案同意	全会一致
陳 情			
陳情第3-2号	加齢性難聴者の補聴器購入助成について国に意見書の提出を求める陳情書	不採択	全会一致

陳 情

6月定例会では、新たに受理した陳情1件について審議した結果、不採択としました。（審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。）

新たに受理したもの

陳情1件

●加齢性難聴者の補聴器購入助成について国に意見書の提出を求める陳情書

〔提出者〕

茨城県古河市

全日本年金者組合

小山支部長 塚原 勝

〔趣旨〕加齢性難聴者は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になるばかりか、最近では鬱や認知症の危険要因になることも指摘されている。補聴器購入に対する公的補助制度が欧米ではすでに確立されているが、日本では一部の自治体で加齢性難聴者の補聴器購入助成を行っているのみである。高

齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防・健康寿命の延伸・医療費の抑制にもつながる加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助を求める意見書の提出を求めるもの。

▽審議結果 不採択

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総 務



▼小山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
問 新設された、新型コロナウイルス感染症の患者等に接した職員に支給される特殊勤務手当について、月額3000円と4000円の適用区分の違いは。
答 この特殊勤務手当は、新型コロナウイルス感染症から市民等の生命および健康を保護するために、緊急に行われた措置に係る作業に従事した場合に月額

3000円が支給されます。そのうち特に、患者等に概ね15分以上の長時間にわたり、接触および1m程度以内の範囲で作業を行った場合には、日額4000円が支給されます。

▼建設工事請負契約の締結について（小山市役所旧庁舎および別館解体工事）

問 解体工事の着工時期は。

答 解体する旧庁舎および別館には、庁舎内に什器や備品が残っているため、7月から準備工に入り、8月から仮囲いをして着工する予定です。



解体工事が始まる旧庁舎

▼建設工事請負契約の一部変更について（豊田中学区新設小学校）

問 外構工事での施工を予定していた外部倉庫2棟の設置を本

建設工事で行うという変更の理由は。

答 外部倉庫には電灯設備等を供給する必要がありますが、外構工事として別途発注した場合には、電気設備を本体建屋から引いてくることとなり、設計上つぎはぎになってしまいます。また、建屋についても、建築基準法上、計画通知を本体と一体としなければならず、建築・電気設備等の検討が必要となったため、変更したものです。

問 地盤補強工が必要になったとのことだが、地盤調査はどのように行ったのか。

答 地盤調査は、平成29年度に造成工事の造成設計の中で、市の委託で実施し、5か所のボーリング調査を行いました。

問 事前にボーリング調査を行ったにもかかわらず、支持地盤の深度に1m以上の差異があるのか。

答 今回建設する建物は横長の形状で、建物を網羅するように5か所を選定してボーリング調査を行いました。校舎南面において急激に支持地盤が下がっているという特殊な地形であっ

たため、このような差異が発生しました。

▼財産の取得について

問 大谷地区中心施設整備事業に係る取得予定地内に構築物があつた場合の対応は。

答 取得予定地内には、家屋とビニールハウス等があります。これらの取り扱いについては、補償費を支払い、地権者の方に移転、または取り壊しを行っていただいた後、引き渡していた

問 大谷地区中心施設整備事業の今後のスケジュールは。

答 本議案の議決をもって本契約が成立し、その後、所有権移転登記を行い、令和3年12月24日までに引き渡しを受けます。令和4年1月から埋蔵文化財の調査に入り、令和4年度、5年度で工事を実施し、令和6年4月に開館予定となっています。



民生

民生（陳情）

▼加齢性難聴者の補聴器購入助

成について国に意見書の提出を求め陳情書

意見 本陳情は、加齢による難聴者に公的助成を求めており、これを認めると加齢により日常生活が不便になり生活の質を落とすものすべてが対象となる可能性があると懸念する。自治体の実情や予算等を考慮し検討するべきと思うので不採択とした

意見 日本補聴器工業会の調査によると、日本に比べ欧米の補聴器使用率が高い理由として、欧米諸国では補聴器販売業者に公的資格制度が導入されており、難聴者に補聴器を販売する場合、医師に診断してもらい、有資格者による聴力検査などを実施するなど補聴器販売者と医師の役割分担が確立されていることが挙げられる。また、日本の補聴器保有者の7%の方が全く使用していないという問題や、加齢性難聴と違っていても、それ以外の病気や補聴器では治らない難聴者の方も一定数いるようであり、単に助成ということでは効果が望めないと思われる。日本の業界でも欧米の制度を取

り入れていく動きもあり、その動向を注視するため不採択とした。

意見 加齢性という部分に疑問を持ったが、本当に補聴器を必要としている人が購入できないのでは国や自治体の支援を考える必要がある。加齢性難聴者へ補聴器購入助成を実施している自治体もあるが、低所得者や生活保護の方など一定の基準を設けている。加齢性ということではなく、難聴者に対する助成という考えもあるので継続審査とし、今後も調査研究したい。

教育経済



▼小山市立学校設置条例の一部改正について

問 新設される豊田小学校の住所は。

答 豊田小学校は大字松沼と大字大本にまたがって位置しており、学校の住所については、学校の西側に大字松沼の集落があり学校と一体性があることや、学校の用地面積や校舎が大字松沼に大きく占めるほか、正門が大字松沼に位置すること、また、

共に小中一貫校となる豊田中学校も大字松沼に位置していることから、大字松沼416番地1としました。



豊田小学校の完成イメージ

▼小山市立教育研究所設置条例の一部改正について

問 小山市立教育研究所の人員体制は。

答 教職員である所長1名、所員2名に加え、それ以外の研究調査職員や教育相談員は、学校の教職員に委嘱し、兼務で配置しています。

問 教育研究所の業務内容は。

答 教職員の研修や、学力調査の分析と結果の各学校への報告、教育相談員による教育相談部の運営などです。

建設水道



▼小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

問 条例改正の経緯は。

答 小山東工業団地地区の南地区については、平成22年の地区計画策定時から市街化区域への編入および工業専用地域の指定を想定し、地区計画において工業専用地域と同様の建築物の制限を定めていました。このたび本年3月30日、県において当該工業団地地区が市街化区域に編入されたことにあわせて、本市においても、本地区を工業専用地域に指定したことから、地区計画における制限の重複を避けるために、工業専用地域と重複する制限内容を削除する変更を行いました。この地区計画の変更に伴い、条例を一部改正しようとするものです。

問 市街化区域への編入等により実質的に変更になることは何か。

答 建築行為の制限に関する変更はありませんが、都市計画税が新たに賦課されることとなります。課税額は、令和4年度は、土地については約500万円、家屋については約1500万円、合計約2000万円と見込んでいます。

予算審査



▼令和3年度小山市一般会計補正予算(第2号)

問 「低所得子育て世帯特別給付金給付事業費」について、ひとり親世帯に対する給付状況は。

答 児童扶養手当の受給者であり、給付を拒否していないことを確認したうえで、1139世帯、1663名の児童に対して、8315万円を給付しました。

問 ワクチン接種予約のコールセンターの電話回線数を、8回線から16回線に増やしたことによる、混雑状況の変化は。

答 回線数を増やしたことにより、朝と夕方以外の時間帯については混雑が解消されました。

問 ワクチン接種予約における電話およびインターネットの予約受付体制について、今後、若い世代の生活に合わせて、受付時間の延長などを検討しているのか。

答 これまでは、電話とインターネットの受付枠を半分ずつとしていたものを、インターネットの割合を増やすこと、および

インターネットの受付時間帯を24時間とすることを検討しています。

問 農地耕作条件改善事業の事業内容は。

答 本事業は土地改良区が実施するもので、計画期間を3年間とし、農業用水路整備、揚水機場整備および畦畔けいはんの除去等を行います。令和3年度は8土地改良区10地区で事業を実施する予定です。

問 都市構造再編集集中支援事業補助金について、補正の経緯および大幅な増額の理由は。

答 本事業の適用範囲が限定されたことにより、この補助事業に手をあげる自治体が減少したため、小山市において補助が受けやすくなったもので、令和4年度に計画していた事業を前倒しして令和3年度中に行おうとするものです。

問 予備費について、増額する5000万円の算出根拠は。

答 新型コロナウイルス感染症に係る抗原検査等の費用および出水期における避難所対応等に係る費用等を想定し、算出しました。



市政を問う

6月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員

会派代表質問

自民未来塾

- 岡田 裕 関 良平
- 小川 亘 福田 洋一
- 篠崎 佳之 荒井 栄
- 福田 幸平 高橋 栄
- 渡邊 一郎



篠崎 佳之
議員

質問事項 ①保健福祉行政②教育行政③行政運営

問 小山市のとちぎ国体、とちぎ大会の準備状況は。

教育部長 小山市では、市実行委員会において県や関係団体との協議、各競技会場の設計、広報・啓発活動などを実施するとともに、令和2年10月には庁内実施本部を設置し、全庁的に開催準備を進めています。令和3年度は、市開催5競技のリハール大会を予定しており、競技運営等の確認を行い、課題を抽出し検証を行うとともに、従事する職員の経験を積む機会とな

るので、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分行い着実に実施します。

問 小山市のSDGsの取り組みは。

総合政策部長 小山市では、第8次小山市総合計画をはじめ各計画に基づく施策、事業でSDGsとの一体的な取り組みを推進しており、これまでの取り組みに関して、令和2年10月に実施された「全国市区SDGs先進度調査」で全国55位になりました。市役所は主に、女性管理職比率、職員の有給休暇取得率および男性職員の育児休業取得率に対して高評価をいただきました。新庁舎においても防災上の安全性を高めるとともに、省エネルギー機能を導入し、職場環境や来庁者に配慮した環境に優しい庁舎となっています。



自然光を取り入れた照明

※1 SDGs・国連の持続可能な開発のための目標であり、17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）からなる。

市政会

- 橋本 守行 安藤 良子
- 大出 ハマ 植村 一
- 小林 英恵 嶋田 積男
- 渡辺 一男 細野 大樹



橋本 守行 議員

質問事項 ①総務行政②保健福祉行政③建設水道行政④産業観光行政⑤教育行政

問 市内小中学校の児童生徒の安全確保に向けた、抗ウイルスコーティングの実施状況と、今後の計画について伺う。

教育部長 令和3年2月末に、大規模校、中規模校を中心とした21校の普通教室の出入口引き戸にコーティングを実施しました。令和3年度は、大規模校、中規模校の照明スイッチや窓、理科室などの特別教室の引き戸、トイレ、階段の手すり、昇降口のドアなど、児童生徒および教職員が触れる機会の多い共用部分のコーティングを予定してお

り、遅くとも学校の夏季休業期間中には実施できるように進めています。

問 イノシシが餌を求め住宅地近くで出没している。人的被害の防止に向けた注意喚起の方法について伺う。

産業観光部長 イノシシ出没への注意喚起として、地元の鳥獣被害対策協議会の協力を得て、これまでわなが設置された場所の周辺に、市が注意喚起のための看板を設置してきました。イノシシの生息域が拡大しつつある現在、さらなる人的被害の発生を抑えるためにも、わな設置場所付近に限らず、思川堤防の周辺を含め、新たな目撃情報が寄せられた場所についても、地元自治会や鳥獣被害対策協議会の協力を得て、注意喚起のための看板の設置を進めていきます。



▷イノシシ出没への注意喚起のための看板

市民派21

- 山野井 孝 石島 政己
- 塚原 俊夫 ○青木美智子



青木美智子 議員

質問事項 ①女性の性と健康②子どもの育ちの環境と支援③公立保育所の整備計画

問 「生理の貧困」問題の解消は防災備蓄品の生理用品配布で終わりではなく、継続的な配布と今後、小中学校、公共施設のトイレに常備できないか。

保健福祉部長 経済的理由などから生理用品の入手が困難な女性を支援するため、防災備蓄品から2000枚程度の生理用品の無償配布を予定しています。

教育部長 学校の個室トイレへの生理用品配置は、他自治体での実施例がありますが、必要な児童生徒に手渡しで配布することで、家庭環境等を把握できるという声もあります。従来の保健室での配布が有効と認識してい

ますが、管理面・方法等について今後も検討を重ねます。

総務部長 公共施設のトイレへの生理用品配置は、持ち去り等により支障が出る懸念があります。本当に困っている方へ届けるために、窓口での手渡し配布を行うことで、困難を抱える女性の把握や、きめ細やかな支援を行い、専門相談につなげる機会になると考えています。

問 公立保育所の入所率、待機児童数の状況、正職保育士の採用計画について。また、二年後に耐用年数を迎える桑保育所の整備計画の検討を。

市長 公立保育所の入所率は4月1日現在85・2%で、待機児童数は暫定値でゼロ人、潜在的待機児童数は暫定値で15人です。

保健福祉部長 公立9か所の4月現在の正職保育士数は全体の43%の61名です。正職保育士の確保は、公立保育所整備の実施計画や今後の退職者数などを考慮して継続的に平準化した人数の採用を考え、早期および定期の採用試験を実施しており、令和3年度は約5名の採用を予定し早期試験の受付を行いました。

おやま創生会

荻部 勉 森田 晃吉
○土方 美代



土方 美代
議員

質問事項 ①福祉行政②教育行政③新庁舎開庁にあたって

問 コロナワクチンの接種者と非接種者との社会的差別やハラメントについて、市の所見を伺う。

市長 厚生労働省では、職場におけるいじめ・嫌がらせなどに関する相談窓口である総合労働相談コーナーを全国の労働局および労働基準監督署内に置いており、新型コロナウイルスに関する相談窓口にもなっています。また、法務省人権擁護局では、みんなの人権110番を開設し、様々な人権問題の電話相談や、ホームページなどで新型コロナウイルス感染症による差別や偏見をなくすための啓発を行っています。ワクチン接種は最終

的に個人の判断によるものであり、接種しないことによる不利益や差別が生じないようにすることは極めて重要なので、市民が職場等における不利益を受けた場合には、これらの相談機関につなげていけるよう周知啓発に努めます。

問 新庁舎開庁に伴い、西側駐車場から庁舎までの階段等の歩行困難者支援について、市の所見を伺う。

総務部長 旧庁舎などの解体工事および駐車場整備工事のため、庁舎西側駐車場から新庁舎までの階段部分を含めた範囲に安全確保のため仮囲いフェンスを設置する必要があり、現在車両が通行しているスロープ部分を除き、約2年間、歩行者の往来ができなくなり、中央市民会館内のエレベーターを利用し、新庁舎に来庁していただくことを考えており、その旨を市のホームページや案内板などで広く周知していきます。今後、歩行困難者支援については、別館の解体後に簡易舗装の臨時駐車場を整備するなど、工事の進捗に合わせて適宜検討していきます。

個人質問（発言順に掲載）



関 良平
議員

質問事項 ①総合政策行政②環境行政③都市計画行政④道路行政

問 都市計画道路の見直しについて。

都市整備部長 平成25年度から27年度にかけて、長期にわたり未着手の路線の見直しの検証を行いました。県などの関係機関との調整および土地の所有者や住民などとの合意形成等の課題から見直しに至っていません。都市計画道路の決定は、長期間にわたり私的財産への制限が生じ、全国的な課題となっていることを踏まえ、令和3年度に着手する小山市都市計画マスタープランの改訂において、今後の人口減少や超高齢社会に対応したまちづくりなども考慮し、改めて検証したいと考えています。

質問事項 ①第2次小山市消費生活基本計画②小山市奨励金・奨学金制度③渡良瀬遊水地④新庁舎開設



安藤 良子
議員

問 高齢者等の消費者被害防止のため、見守りネットワークを設置し、活用できないか。

市民生活部長 市では関係各課と連携し、消費者被害の相談を把握した場合、小山市消費生活センターを案内するなど、消費者被害の未然防止や救済に努めています。消費者被害の未然防止や救済体制の強化を図るため、地域の多様な担い手が連携して、高齢者や障がい者などの配慮を要する消費者の見守り活動を行うための、消費者安全法に規定される「消費者安全確保地域協議会」の設置に向けた調査研究を進めていきます。





荒川美代子
議員

質問事項 ①保健福祉行政②教育行政③補助金

問 個人向け補助金が一気に減り戸惑う市民の声がある。市民福祉に不公平感がないようにすべきと思うが。

総合政策部長 予算編成において、補助金の廃止、変更を決定した事業については、市民への周知期間を十分に確保することが難しい場合があります。また、改訂が2年に1回の市民便利帳の補助金一覧には、本年廃止された補助金が掲載されたままとなることなどが原因で、誤解を招いているものと思われます。このため、今後は市民が混乱することのないよう、経過措置を定めるなど、補助金の廃止、変更を決定した事業について、十分な周知期間を設けるようにしていきます。



荒井 寛
議員

質問事項 ①経済行政②農業行政③排水強化対策④人口減少⑤大沼周辺整備

問 大沼周辺整備のうち、駐車場の拡張整備の進捗状況は。

産業観光部長 大沼の駐車場整備については、近年の来訪者の増加により、地区の住民代表から駐車場拡張の要望があったことから、令和元年度に策定した羽川大沼周辺整備構想の取り組みの一つとして、現在の駐車場の西側に拡張整備をすることが位置付けられました。事業の進捗状況については、令和2年度に用地測量業務を実施済みで、令和3年度は整備に向けた実施設計業務を行います。その後、令和4年度に用地買収を行い、令和5年度に駐車場の整備工事を行う予定です。



福田 幸平
議員

質問事項 ①自治行政②福祉行政

問 市役所窓口や出張所、ワクチン接種会場など、手続きに不慣れな人を支援する制度について市の現状と考えは。

保健福祉部長 高齢者に対しては、市内6か所に設置した高齢者サポートセンターにおいて、相談内容に応じた必要な場合は窓口への同行や手続き内容の案内をしています。障がい者に対しては、外出などを支援する移動支援事業や、聴覚障がい者に窓口で支援を行う手話通訳者派遣事業などを活用していただくことで支援しています。また、市民課では令和3年度から申請書記入を案内するコンシェルジュを配置しています。今後は各種制度の充実を図るとともに、ボランティア活用について先進事例等を参考にしながら社会福祉協議会等とも連携し検討します。



苅部 勉
議員

質問事項 ①工業団地②弓道場③中学校の部活動④コロナ禍における避難所の運営

問 コロナ禍における避難所の運営方針と市立体育館の避難所としての有用性について伺う。

危機管理監 小山市の指定避難所の収容人数の算定は、一人当たり2㎡ですが、国、県の通知に基づき、コロナ禍においては一人当たり4㎡としました。指定避難所は小中学校および高等学校の体育館ですが、収容人数の減少に伴い、避難所不足にならないように、特別教室の開放を依頼するとともに、事前に親戚や友人宅、ホテルや旅館の活用など、避難所以外への避難を検討していただくよう周知しています。市立体育館は、定員1400人で、コロナ禍では700人となります。また、冷暖房が使用でき、駐車場も避難所として212台利用可能です。





佐藤 忠博
議員

質問事項 ①保健福祉行政②市民生活行政

問 知的障がいや皮膚炎などの理由によりマスク着用が困難なことを意思表示するバッジなどを配布するべきでは。

市長 やむを得ない事情によりマスクの着用が難しい方への誹謗中傷を防ぐためには、社会全体の理解が必要とされており、そのような方たちの人権にも配慮できるように周知啓発を進めます。マスクをつけられない方が意思表示をし、周囲の理解を得ることができるよう「マスクをつけられません」と書かれた意思表示バッジやカードの作成に取り組みます。意思表示バッジ等の存在を知ること、マスクの着用が難しい方の特性や事情を理解し、お互いに思いやりと優しさを持って新型コロナウイルスとの戦いを乗り越えていくよう努めます。



渡邊 一郎
議員

質問事項 ①デジタル庁発足に伴う対応②少子・高齢化対策③自治会の加入促進

問 小・中・義務教育学校の給食費の一部減免ができないか伺いたい。

教育部長 小山市の学校給食費は、県内で一番安く、平成11年から値上げしていません。また、給食費の保護者負担を軽減するため、小山市がふゆみずたんぼ米を含む小山産米を購入し、さらに、おやま和牛やほとむぎなどの地場産農畜産物の購入費用として、令和3年度は2675万円を補助しています。小・中・義務教育学校の給食費の一部減免については、県内他市においても財政を圧迫し、断念していることから、小山市においても厳しい財政状況により難しいと考えています。



平野 正敏
議員

質問事項 ①保健福祉行政②国民健康保険

問 栃木県が実施するPCR検査の結果および小山市のPCR検査・抗原検査の取り組みについて伺う。

副市長 栃木県の発表では、6月1日現在のPCR検査数は2万4288件で、陽性率は2.4%です。小山市では、令和3年1月から、新たに市内高齢者施設に入所する市内在住65歳以上の方がPCR検査を希望する場合、無料で検査を受けることができるよう「小山市高齢者施設新規入所者PCR検査費用補助事業」を開始し、制度開始から5月までに14件の検査を行いました。また、令和3年度から、デイサービス等の職員を対象とした「通所及び訪問介護職員等PCR検査費用補助事業」も開始する予定であり、現在準備を進めています。



大平 拓史
議員

質問事項 ①社会的孤立対策②消防行政

問 不登校や別室登校をしている児童生徒への学習支援として、希望者にICTを活用して授業動画を配信しては。

教育部長 各学校では、不登校児童生徒への学習支援について、児童生徒や保護者の要望を把握した上で個別の対応をしています。今後はGIGAスクール構想による児童生徒へのタブレット端末の整備完了に伴い、不登校児童生徒やその保護者のICTを活用した学習への期待が高まることも考えられます。市教育委員会としては、児童生徒一人一人の実態を踏まえ、校内で支援策を十分に検討した上で、当該児童生徒が真に必要なとして、当該児童生徒が真に必要なとして、現実可能な支援を提案していくよう、引き続き各学校に指示していきます。



細野 大樹
議員

質問事項 ①保健福祉行政 ②教育行政 ③絹地区の行政課題

問 絹地区の市民のために、デマンドバスと結城市営バスの乗り継ぎポイントの中河原か福良橋等に設置できないか。

都市整備部長 結城市の巡回バスは、結城市が運営主体となつて運行し、バスの北東部ルートは、一部絹地区を通過します。結城市の巡回バスのバス停を小山市の桑・絹エリアに設置していただき、デマンドバスの乗り継ぎポイントに追加すれば、市民の要望に合わせた移動手段が確保でき、デマンドバスの利便性向上や利用促進、両市の交流促進に寄与できると考えます。今後実現の可能性を調査研究し、課題となる交通事業者の理解と協力および小山市、結城市の地域公共交通会議での審議等に必要となる条件を整理します。

■ 議会日誌

〔4月〕
▽15日 関東市議会議長会監事会・正副会長会議（書面会議）

▽20日 議員説明会／議会運営委員会

▽23日 栃木県市議会議長会議
▽27日 関東市議会議長会理事會（書面会議）

〔5月〕
▽7日 執行部との定例懇談会

▽11日 議員説明会／議会運営委員会

▽12日 関東市議会議長会新旧正副会長会議（Web会議）

▽14日 議会運営委員会
▽25日 全国市議会議長会理事會（書面会議）

▽26日 全国市議会議長会定期総会（書面会議）
▽28日 議会運営委員会

〔6月〕
▽3日 議会広報委員会
▽14日 民生常任委員会
▽15日 教育経済常任委員会

■ 議場見学

〔7月〕
▽16日 建設水道常任委員会
▽17日 総務常任委員会
▽18日 予算審査常任委員会
▽23日 議会運営委員会／公共施設等整備調査特別委員会／議員説明会

▽9日 議会広報委員会
▽13日 議員説明会

〔7月〕
▽1日 小山城東小 120名



議場見学の様子

議会だより表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。
あて先／小山市中央町1丁目1番1号
小山市議会事務局
- 問い合わせは…議会事務局
(☎ (22) 9463) までお気軽に!



本会議はインターネットで
ご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご活用ください。



(小山市議会ホームページからリンクしています。)

<http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/>

議場が新しくなりました。

令和3年6月定例会は、新庁舎7階に移転後、最初の本会議となりました。

そこで皆さまに、新議場を紹介します。



議長席からの全景

電子採決システムを導入しました。

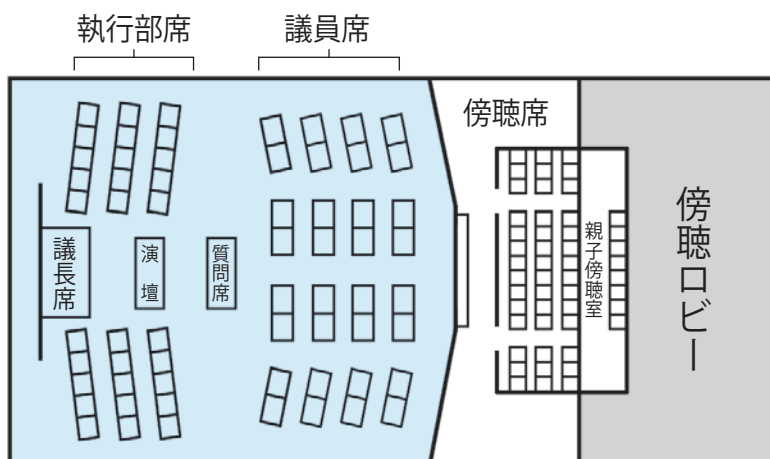


議員席には賛成・反対のボタンが設置されています。



議場正面

議長席の両側には、市長、部長などが座る執行部席があります。



新議場の見取り図



演壇

一般質問の答弁をする浅野市長



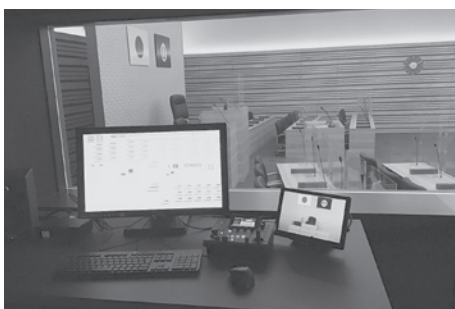
傍聴席

後方には親子傍聴室があります。



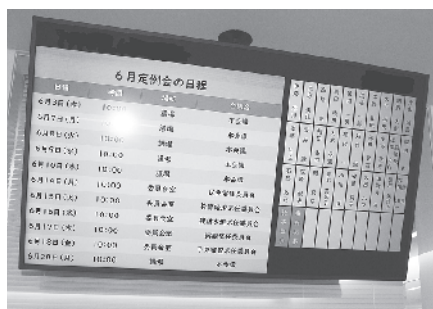
傍聴ロビー

バリアフリーなので車いすのまま入場できます。窓からは小山御殿広場が一望できます。



調整室

議会中継のカメラ操作などを行っています。



議会事務局前のモニター

定例会の日程などをお知らせしています。

傍聴の受付は議会事務局の窓口で



皆さまの傍聴をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

暑中お見舞い申し上げます

議長 福田洋一
副議長 橋本守行

片山照美 平野正敏 嶋田積男 佐藤忠博 森田晃吉 大木英憲 篠崎佳之 大出ハマ 青木美智子 石島政己
細野大樹 渡邊一郎 高橋栄 岡田裕 荻部勉 福田幸平 荒川美代子 安藤良子 関良平
大平拓史 渡辺一男 土方美代 小林英一 植村一 荒井覚 山野孝 小川巨 塚原俊夫



小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞いのご挨拶は自粛しています。
市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。
小山市議会議員一同

次回定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Meeting Type. Dates: 9月2日(木), 9月6日(月), 9月7日(火), 9月8日(水), 9月9日(木), 9月13日(月), 9月14日(火), 9月15日(水), 9月16日(木), 9月17日(金), 9月29日(水). Meeting types: 本会議 (開会・議案上程), 本会議 (一般質問), 本会議 (一般質問), 本会議 (一般質問), 本会議 (一般質問・付託), 委員会, 委員会, 委員会, 委員会, 委員会, 委員会, 本会議 (採決・閉会).

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。
※本会議については、ケーブルテレビおよびインターネットでもご覧いただけます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に、ご協力をお願いいたします。

令和3年第2回定例会の傍聴者数

6月定例会の傍聴者数は、71人でした。
6月 3日= 5人 ・ 7日=30人
8日=15人 ・ 9日=11人
10日= 8人 ・ 28日= 2人

請願・陳情のしかた

市議会に対しての要望や意見を文書で提出することができます。
紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。取り扱いに違いはありません。
採択となった請願・陳情については、関係機関に送付します。
当市議会では、年4回の定例会（2・6・9・12月）が開催されており、原則として、開会の7日前までに提出されたものを審議しますので、早い時期での提出をお願いいたします。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（☎0285-22-9463）

『請願・陳情の提出書式例』

- ◎あて先(小山市議会議長あて)、提出日、件名、理由を記入してください。
◎住所、氏名を記入し、必ず押印してください。
◎請願・陳情者が多数の場合は、代表者を決めてください。
◎請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要となっています。
◎用紙のサイズは、A4版で提出ください。

Form for petition submission with fields for: 請願書(陳情書), Date, Recipient (小山市議会議長), Petitioner (請願者), Address, TEL, Name (with seal), Referring Member (紹介議員), Name, and Item Name (件名), Purpose (趣旨), Reason (理由).

表彰

5月に開かれた第97回
全国市議会議長会定期総
会において、次の議員が
表彰されました。

議員在職
10年表彰



小林 英恵
議員

議員在職
10年表彰



橋本 守行
議員

議員在職
10年表彰



岡田 裕
議員

議員在職
30年表彰



石島 政己
議員

議員在職
10年表彰



福田 幸平
議員

議員在職
10年表彰



大木 英憲
議員

議員在職
10年表彰



植村 一
議員

議員在職
10年表彰



苅部 勉
議員

議員在職
10年表彰



森田 晃吉
議員

感謝状贈呈



福田 洋一
議員

同じく、5月に開かれた第
97回全国市議会議長会定期総
会において、全国市議会議長
会の理事および国会対策委員
会委員として会務運営に携わ
ったことにより、次の議員に
感謝状が贈られました。

議員在職
10年表彰



篠崎 佳之
議員

議員在職
10年表彰



荒井 覚
議員

編集 後記

このたび各種
委員の再編によ
り、私たち6名
が新たに広報委
員に選出されました。「おや
ま市議会だより」は、昭和37
年の創刊以来、市民の皆様
に議会の活動を伝えてきました。
この間、議会の動きや審議の
状況などをわかりやすく伝え
ようと、紙面の充実を図って
きたところですが、これからも
市民の皆さまの目線に立ち、
議会を身近に感じていただけ
るような広報紙づくりに努め
てまいりますので、よろしく
お願いいたします。

(議会広報委員一同)

